

動 向 調 査

平成30年 7 月～9 月期

●調査依頼 5,261 社 ●有効回答企業 1,227 社

信用保証をご利用いただいている皆さまの景況・金融動向を把握するために、国の機関である日本政策金融公庫と共同で「信用保証利用企業動向調査」を四半期ごとに実施しています。ここでは東京都内信用保証利用企業の平成30年 7 月～9 月期の調査結果についてお知らせします。

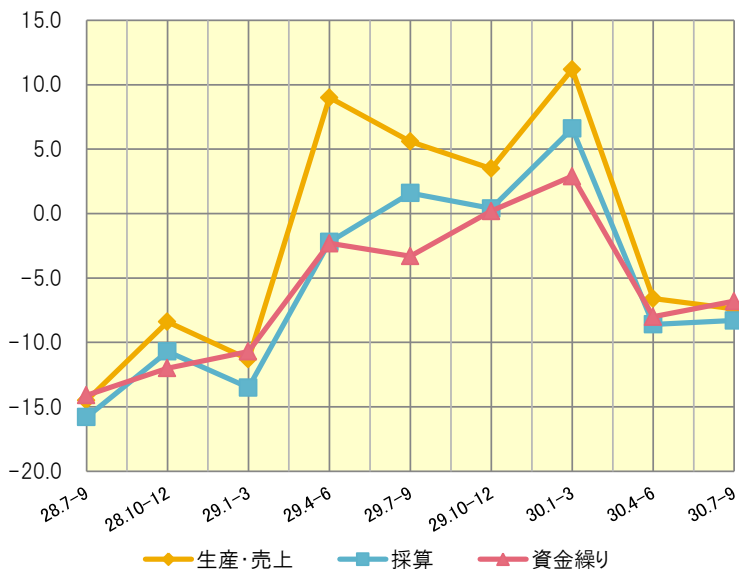
景気動向指数DIとは

景気動向指数DIとは、「好転した企業の割合」から「悪化した企業の割合」を引いて算出するもので、「好転」傾向と「悪化」傾向のどちらが強いのか、いわば綱引きをして景気動向を判断する指数です。また、このデータは「季節調整値」を利用しています。この季節調整値は、季節商品等の影響などの季節的な要因を取り除いた景気動向を判断するための数値です。

[概 況]

都内信用保証利用企業の景況感は横ばいとなったが、
来期は回復を見込んでいる。

【「生産・売上」「採算」「資金繰り」総合値グラフ】



◎総合

今期(平成 30 年 7 月～9 月期)調査による景気動向指数(総合値)は、「生産・売上」が前期比-0.8 ポイントの▲7.4、「採算」が前期比+0.3 ポイントの▲8.3、「資金繰り」が前期比+1.2 ポイントの▲6.8 と、すべての項目でマイナス値での着地となった。

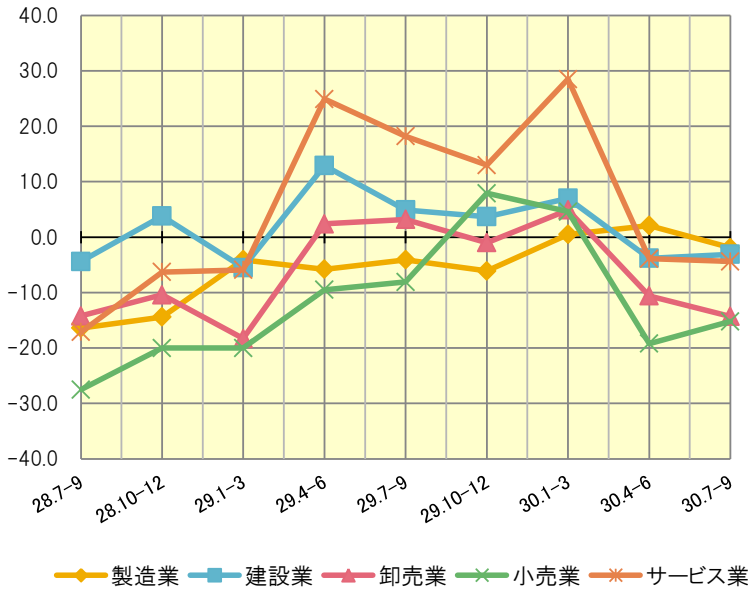
今後 3 か月の予測値(来期予測)は、「資金繰り」はマイナス値予測となっているが、「生産・売上」は 11.5、「採算」は 4.3 とプラス値に転じる予測となっている。

「生産・売上」「採算」「資金繰り」実績・予測値(総合)

	生産・売上	採算	資金繰り
前期末予測値	8.3	2.7	-5.2
今期実績	-7.4	-8.3	-6.8
来期予測	11.5	4.3	-2.5

●生産・売上

【業種別「生産・売上」グラフ】



今期の生産・売上 DI(総合値)は▲7.4(前期比-0.8ポイント)となった。

業種別においても、卸売業が▲14.3、小売業が▲15.2となるなど、すべての業種についてマイナス値での着地となった。

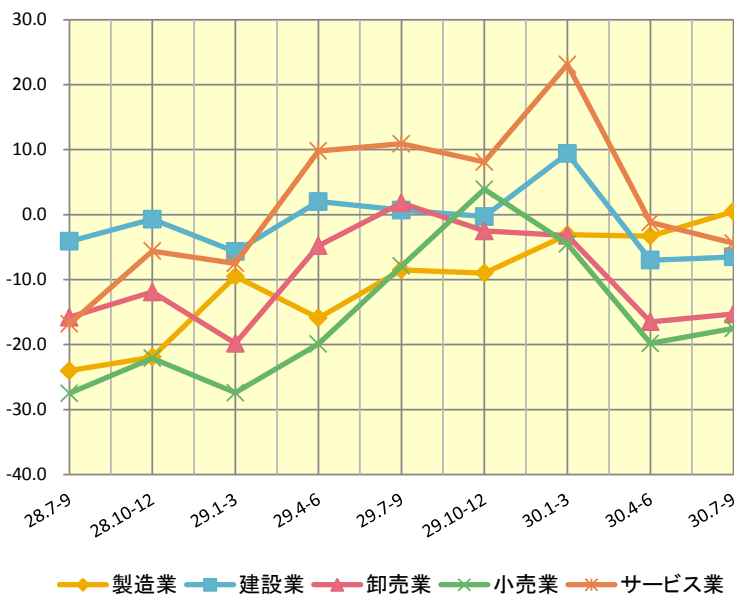
一方で、来期はすべての業種においてプラス値に転じる予測となっている。

業種別「生産・売上」実績・予測値

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合
前期末予測値	8.9	12.9	7.8	-3.8	8.9	8.3
今期実績	-1.9	-3.1	-14.3	-15.2	-4.4	-7.4
来期予測	5.4	16.2	11.5	0.7	14.7	11.5

●採算

【業種別「採算」グラフ】



今期の採算 DI(総合値)は▲8.3(前期比+0.3ポイント)で横ばいとなった。

業種別では、建設業、卸売業、小売業、サービス業は前期に引き続きマイナス値となったが、製造業は、前期比+3.8ポイントの0.5とプラス値に転じた。

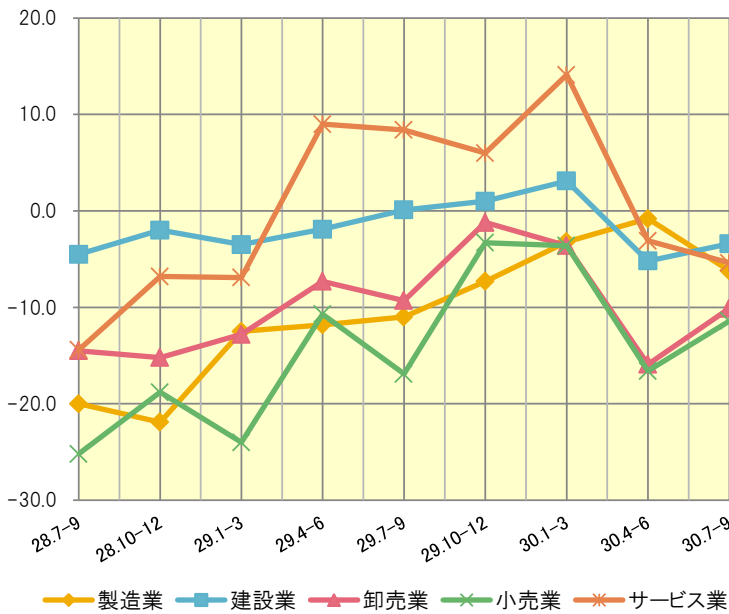
来期は製造業、小売業こそマイナス値予測であるものの、その他3業種はプラス値の予測となっている。

業種別「採算」実績・予測値

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合
前期末予測値	2.6	4.1	-1.0	-4.1	7.3	2.7
今期実績	0.5	-6.5	-15.3	-17.5	-4.4	-8.3
来期予測	-0.1	9.2	0.9	-3.1	9.1	4.3

●資金繰り

【業種別「資金繰り」グラフ】



今期の資金繰り DI(総合値)は▲6.8(前期比+1.2ポイント)と、前期からやや改善した。

業種別では、卸売業(▲10.1(前期比+5.8ポイント))、小売業(▲11.4(前期比+5.2ポイント))と改善された。一方で、製造業(▲6.2(前期比-5.4ポイント))は悪化した。

来期は、製造業、建設業、卸売業、小売業でマイナス値の予測となっているが、サービス業についてはプラス値への転換を見込んでいる。

業種別「資金繰り」実績・予測値

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合
前期末予測値	-3.9	-3.7	-8.0	-9.2	-3.1	-5.2
今期実績	-6.2	-3.4	-10.1	-11.4	-5.4	-6.8
来期予測	-5.5	-1.2	-6.9	-8.0	3.9	-2.5